

●◎平成30年7月豪雨におけるTEC-FORCEの自治体支援活動●

受賞機関 国土交通省 中国地方整備局他13機関

キーワード 災害時の自治体支援、復旧作業の加速化、二次災害の防止

全建賞審査委員会の評価ポイント

平成30年7月豪雨で甚大な被害が発生した岡山県、広島県、愛媛県等において、全国から派遣されたTEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）が被災状況調査や緊急排水、土砂撤去、緊急物資の輸送等の活動を実施し、自治体の支援を行った取組み。1,700名以上の職員による、2ヶ月以上にわたる様々な支援活動を実施し、被災地域の復旧作業の加速化、二次災害の防止、被災者の保護に寄与した点が評価された。

1. はじめに

平成30年7月豪雨では、中国・四国地方に甚大な被害をもたらした。岡山県と広島県を中心とした9水系23河川36箇所の堤防決壊を含む2,860箇所の河川管理施設の被災と、広島県や愛媛県を中心とした2,140件の土砂災害が発生した。また、これらを起因とし中・四国合わせて約900箇所の道路が通行止めとなるなど物流や市民生活にも大きな被害をもたらした（H31.1.9まとめ）。

被災した地域を所管する中国地方整備局及び四国地方整備局に加え、国土交通省、国土技術政策総合研究所、国土地理院、東北・関東・北陸・中部・近畿・九州地方整備局、北海道開発局、内閣府沖縄総合事務局、国立研究開発法人土木研究所の計14機関のTEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）が、被災した中四国5県35市15町2村の自治体に対して、1,757人（延べ9,664人・日）が、2ヶ月以上の長期にわたり活動を実施した。

2. 事業の概要

TEC-FORCEの活動は、災害からの早期復旧に資する取組として被災状況調査、浸水エリアの緊急排水、道路啓開、河川土砂撤去、緊急物資の輸送、建設資材・機械の支援等や、空中写真・各種地理空間情報の提供を行った。また、避難勧告の発令基準を通常基準より1段階早めた暫定基準発令について助言を行うとともに、仮設カメラの設置等により被災地の二次災害発生防止を行った。

さらに、被災者の生活支援に寄与する活動として、浄水場が被災し断水した愛媛県宇和島市等で散水車等による生活雑用水の提供や、船舶による緊急物資の輸送や給水・入浴支援等を実施している。



【岡山県倉敷市真備】排水ポンプ車 23 台 24 時間体制で排水



【広島県安芸郡坂町】土石流による土砂撤去支援

3. 事業の成果

四国地方は9月14日、中国地方は9月21日までの長期にわたり各種の支援活動を実施し、被災された地域の復旧作業の加速化、二次災害の防止、被災者の保護に大きく寄与した。

被災自治体からは、迅速できめ細やかな対応に感謝されているとともに、高い評価をいただいた。

4. おわりに

被災地の復旧・復興へ向けての道のりは、未だ道半ばの状況であり、被災地の方々が一日も早く元の暮らしを取り戻していただけるよう、引き続き総力を挙げて取り組んでいる。

近年、自然災害が頻発化、激甚化しており、地域の方々の期待に応えるため、これからも日々、研鑽を積み重ねるとともに、TEC-FORCEの体制の拡充や対応能力のさらなる向上を図っていく所存である。